

# しまねの社会教育 だより vol.10



小学校のクラブ活動での銭太鼓指導(安来市)



通学合宿でのイカの一夜干し作り体験(浜田市)



ボランティアハウスでの粉ひき体験(益田市)



中学校の家庭科での調理実習支援(松江市)



小学校の書き初め大会での指導(江津市)



放課後子ども教室でのささまき作り(雲南市)



アドベンチャーキャンプでのいかだ航海(海士町)

## 特集 結集! しまねの子育て協働プロジェクト

2012.  
3月号

photo 学校と地域が連携して取り組んでいる活動の様子(上) 社会教育主事講習(B)の様子(下)



# 「結集! しまねの子育て協働

子どもの健やかな成長は県民全ての願いです。県内では学校・家庭・地域が連携して地域全体で子どもの教育や子育てを支援する事業が進められています。〔「しまねの社会教育だより3・4号掲載」〕この取組を継続し、地域の宝である子どもに地域の大人が関わり、地域全体で育てていくために、学校支援、放課後支援、家庭教育支援の事業が連携していく仕組みづくりが求められています。

島根県では、今各地域で取り組まれている事業を有機的に連携させる「結集!しまねの子育て協働プロジェクト」が4月からスタートします。今回はこのプロジェクトについて紹介します。

## これまでの子どもや学校を核にした地域の取組

### ふるさと教育推進事業

※社会教育だより第4号掲載



どの事業も地域の子どもを地域の大人たちで支える取組だから一緒に話し合えるといいわね。

### 放課後子どもプラン

※社会教育だより第3号掲載



予算は少ないけどどの事業も続けていきたいなあ。

## 地域住民

もっといろいろな人が活動に参加できるといいね。

### 学校支援地域本部事業

※社会教育だより第4号掲載



### 家庭教育支援事業

※社会教育だより第3・6号掲載  
(親学プログラム)



新たな仕組みづくりが必要だ!



## 新たな仕組みづくりのイメージ

### ①センターの設置

情報と人材を集め、総合的に企画・調整・連絡を行う取組の拠点を設置する

### ②コーディネーターの配置

学校支援・放課後支援・家庭教育支援の取組を総合的に調整するコーディネーターを配置する

### ③人材の育成と管理の効率化

研修会の効果的な開催、人材バンクの管理と活用の一元化、諸団体との協力体制の構築等をすすめる

### ④運営組織の一本化

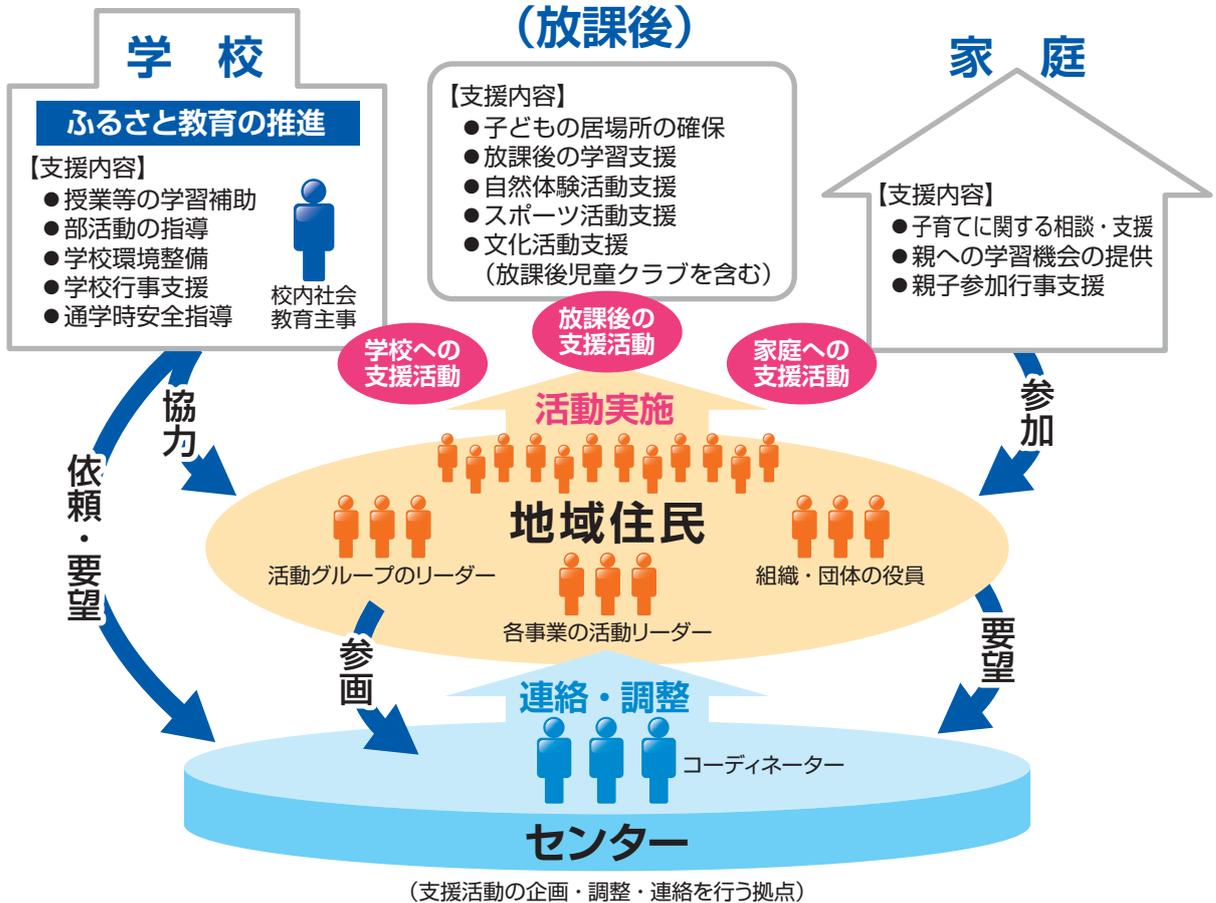
効率よく、効果的に検討が進められるように組織を一つにする

実態にあわせて

事業を進める  
市町村独自の

# プロジェクト」がはじまります

## 結集! しまねの子育て協働プロジェクト(イメージ図)



## 具体的な事業展開(こう変わります!)

- ①ふるさと教育推進事業
- ②学校支援地域本部事業
- ③放課後子ども教室推進事業

## 「結集! しまねの子育て協働プロジェクト」

### ①ふるさと教育推進事業

- 市町村、各小学校に交付金を配布
- 量的・質的充実のための教員研修の充実
- 市町村における「ふるさと教育」を中心とした推進体制構築のための働きかけ・支援

### ②学校支援地域本部事業

- 平成22年度までの委託事業の取組を、文部科学省補助事業を活用し、継続的な取組として推進
- コーディネーターの研修は、放課後子どもプランの研修会と共同開催

### ③放課後子ども教室推進事業

- 放課後子ども教室の取組を、文部科学省補助事業を活用し、放課後児童健全育成事業と連携し、継続的な取組を推進
- コーディネーター・指導員等の研修は、学校支援地域本部事業の研修会と共同開催

### (1)ふるさと教育推進事業

- 市町村交付金は「結集! しまねの子育て協働プロジェクト交付金」と名称を変え、(2)、(3)の事業にも幅広く使えるようにする。
- 教員研修は、「ふるさと教育」の充実を図りながら、地域全体の教育や子育ての取組との連携を含めた研修内容とする。
- 「結集! しまねの子育て協働プロジェクト」の趣旨を周知し、地域の実態にあった市町村独自の事業開発へ発展するよう支援する。
- 地域課題(ex.地域医療)に促した「ふるさと教育」の推進。

### (2)文部科学省の補助事業補助金を統合申請

- 文部科学省の補助金事業「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」を活用し、学校支援地域本部分、放課後子ども教室分、家庭教育支援分をひとつの枠組みの中で実施できるように、補助金を統合申請する。統合申請することで、市町村の特色をもった取組により重点化することができる。

### (3)新規事業

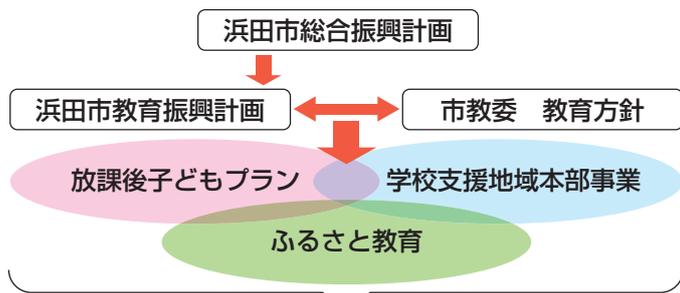
- 家庭教育支援…「親学プログラム」を活用した情報や学習機会を提供する取組を推進。
- 校内社会教育主事…「校内社会教育主事」の資格を設け、校内における学校・家庭・地域の連携協力の促進に関わる活動を支援する。

# 地域ぐるみで子どもを育む浜田市の推進体制

浜田市では「浜田市教育振興計画—はまだっ子プラン—」(H23~27年度)に基づき、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが地域の多様な教育資源(ひと・もの・こと)と関わる中で、豊かな人間性や社会性、ふるさとを愛する心が育つような教育活動を推進しています。また、市民が自ら学んだことを地域社会に還元できるシステムづくりに公民館が積極的に関わることにより、教育活動の充実と地域の教育力の向上を積極的に進めています。

## 「地域ぐるみで子どもを育む」浜田市の推進体制とその特徴

### ○浜田市の推進体制



### はまだっ子活動支援運営委員会

総合的な支援・推進をはかる活動を市の運営委員会としてH20から活動開始

メンバーは？

- 学校関係者 ■公民館職員 ■PTA
- 社会教育委員 ■児童クラブ指導員
- 地域住民 ■放課後子ども教室CN
- 各中学校区CN代表 ■子育て支援課
- 生涯学習課

はまだっ子活動支援運営委員会(市の実行委員会)

中学校区ネットワーク会議(地域協議会)

各校区ごとの取組

協議内容

- ・各中学校区での情報収集や情報の発信
- ・市が推進していく事項について実践者としての意見交換
- ・市主催の研修会に対する意見や要望の整理



もともと、「放課後子どもプラン」の運営委員会としてはじまりました。その後「ふるさと教育」「学校支援地域本部」も加わりました。委員の方たちは特に事業ごとの区別はなく、「地域ぐるみで子どもたちにとって必要な支援」について検討しています。

### ○地域と学校が一体となった取組が特徴

1. 公民館を拠点として推進 (公民館のネットワークを利用)
2. 中学校区でネットワーク会議を開催 (学校、公民館、地域住民、PTA、教育委員会)
3. 定期的な打ち合わせの実施 (日常的な打ち合わせに加え、学期に1回程度)
4. PTAとの連携 (活動の様子、参加への呼びかけ等、保護者への広報)

## 実際の取組

### 後野小学校(ふれあいマンデー)の取組

後野小学校では、平成20年度より学校支援地域本部事業が始まり、コーディネーターの仲介で学校支援が大きく進みました。また、その発展として放課後の活動(ふれあいマンデー)も始まり、学校で放課後の活動(ふれあいマンデー)になりました。実施日は月曜日の放課後で、これにより、学校では職員会議の実施がスムーズになりました。「できる人ができることを!」をモットーに、爪づくりや鉛筆削り等多岐にわたります。学期に1回は職員会議で意見交換を行い、改善を進めてきました。これらの支援により、多くの地域住民がこの活動に参加し始め、地域の活性化の兆しが見られます。



右の写真は、鉛筆削りの指導の様子です。

### 原井小学校(児童クラブ)の取組

公民館事業で実施してきた子どもに関わる事業を児童クラブと連携することによって成果が表れてきました。児童クラブでは以前から、子どもたちにいろいろな体験をさせてやりたいという思いがありました。そこで、公民館がコーディネーターとして公民館の事業のノウハウを生かして、土曜日の児童クラブにおいて地域住民との交流が始まりました。地域住民によって活動プログラムが作成され、頻りに打ち合わせも行われています。子どもたちはもちろん、地域住民も月1回の土曜日の児童クラブを楽しみにしており、囲碁教室や腹話術、おやつづくりなどで交流を深めています。教育委員会と福祉部局が連携したことにより、子どもたちの活動の幅は大きく広がりました。

右の写真は七夕飾りの様子です。



## 市町村独自の取組事例②

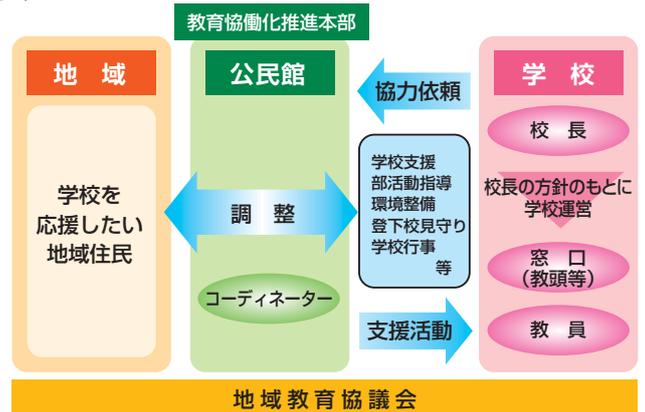
# 学校・家庭・地域がパートナーとして協働し、子どもたちを育てていくための体制づくり 益田市教育協働化推進事業

益田市では、健やかで心豊かな「益田っ子」を育成するため、学校・家庭・地域が子育てパートナーとして手をつなぎ、地域ぐるみで小・中学校の教育活動の充実を目指しています。そのため、保護者や地域住民の豊富な知識や経験を活かして、教育活動に参画してもらえよう、公民館を核にしたシステム構築を進めています。

## 益田市の教育協働化システムの概要

- ①全中学校区の公民館に教育協働化推進本部を設置  
(一部小学校区の公民館に本部を設置)
- ②本部にコーディネーターを配置(事務局としての役割)
- ③本部に活動費を支給
- ④コーディネーターに報酬を支給
- ⑤地域協議会の開催(既存の組織の活用可)
- ⑥活動報告の活用(情報の共有化)
- ⑦研修会の実施(情報の共有化)

## 益田市の教育協働化



## 「つろうて子育て」が合言葉!

益田市では「つろうて(みんな一緒に)子育て」を合言葉に、市民全員が子育てパートナーとして子育てに関われる姿を目指しています。

コーディネーターは学校の要望を受けて、「学校」と「学校を応援したい地域住民(子育てパートナー)」をつなぐ役割を果たします。



益田市では、学校支援地域本部事業を柱に放課後子どもプランやふるさと教育推進事業を有機的に連携した取組をめざし、益田市教育協働化推進事業として今年度より市内全小・中学校で取り組んでいます。

## 子育てパートナーの活動分野の例

学習支援タイプ	校外学習の引率、ミシン指導のサポート、九九や音読の確認、学習プリントの丸つけなどの授業補助、実験・実習の補助
学習指導タイプ	和楽器、書写、絵手紙などの専門的な知識や技能の伝達
資料作成タイプ	社会科、総合的な学習などの資料収集・作成
共学タイプ	英語、図工、性教育、人権・同和教育などに子どもと同じ学習者として参加
その他のタイプ	学校行事、支援が必要な子どもたちへの関わり、学校美化活動、見守り活動など

## 実際の取組

### 西益田地区の取組

西益田地区では、平成20年度より教育協働化事業を先駆的にモデル実施してきました。西益田地区で「地域で育む益田の子推進協議会」を母体とし、地域教育協議会を開催しています。また、学校支援を行う子育てパートナーは、放課後子ども教室(ボランティアハウス)や放課後児童クラブの関係者と共通していることが多いため、この3つの事業を総合的・有機的な取組に位置付け、それぞれのリーダーが益田市教育協働化の地域コーディネーターとなっています。3年の文部科学省委託事業が終了してもこのメンバーを中心に継続的な活動が行われています。右の写真は、12月にボランティアハウスを中心に行われた餅つき大会の様子です。



### 吉田地区の取組

吉田地区では、子育てネットワーク会議を定期的で開催しています。この会議には、保・幼・小・中の関係者と公民館長及び市民学習課職員が参加して、吉田地区の課題解決のため意見を出し合い研修会等を行い、地区全体で子育てを考える機会としています。今年度は、メディアを考える3年計画の3年目として益田中学校の学校保健委員会の生徒発表を受けて古野陽一氏(NPO法人「子どもとメディア」専務理事)の講演会を開催しました。

写真は、中学生の発表の様子です。



# 平成21～23年度までの島根県立東部・西部 人材養成研修事業と親学プログラム

島根県立東部・西部社会教育研修センター（以下東西センター）は、地域社会が多くの困難に直面する今日「地域の教育力」向上など社会教育への要請が高まり、教育基本法さらには社会教育法が改正されたことを踏まえ、昨年度から名称とともに、これまでの事業内容を大きく変更しました。

特に人材養成研修事業は、市町村社会教育指導者・担当者、公民館等職員など社会教育実践者を対象とし、基礎・専門研修・課題別研修を実施してきました。併せて家庭教育支援のための親学プログラムの開発・普及とそのプログラムを活用できる親学ファシリテーターの養成にも努めてきました。

今後は、皆様にとってより有益かつ身近に感じられる研修センターとなるため、これまでの3年間、東西センターが実施した人材養成研修および親学プログラムの普及についての成果と課題について整理してみます。

## 人材養成研修について

### 1 数値目標

「地域力」の醸成をすすめていく上で、社会教育実践者のチカラは欠かせません。多くの社会教育実践者の方々に満足していただけるような講座づくりを目指してきました。特にこの3年間は、社会教育指導者・担当者、公民館等職員の方が1年間で300人、3年間で900人(実数)受講されることを目標としました。県内約300の公民館等を小さなエリアとして考えているので、一つのエリアから1年間で少なくとも一人は受講していただきたいと考えたからです。また、これらの方々が県内各市町村にバランス良く存在することを目指してきました。

●平成21～23年度までの東西センター研修受講者数一覧●

	H21年度	H22年度	H23年度	合計
基礎研修受講者数	408	413	300	1,121
専門研修受講者数	271	271	183	725
課題別研修受講者数	559	483	445	1,487
その他すべての研修の参加者数(メディア研修を除く)	1,378	1,382	928	3,688
うち市町村担当者・公民館等職員の実数	377	374	285	1,036

### 2 成果と課題

東西センターの研修を人材養成に特化してから3年が経ち、多くの方に参加していただきました。参加状況を詳しく見ると、次のような成果と課題が明らかになりました。

#### ■ 成果

- 東西センターにおいて3年間でのべ3,600人以上に参加していただきました。特に市町村社会教育指導者・担当者や公民館等職員の方には実数として1,036人に参加していただき、数値目標を達成することができました。
- 基礎・専門研修の評価において、アンケートでは満足度80パーセント以上の講座が全体の講座数の9割以上を占めました。

#### ■ 課題

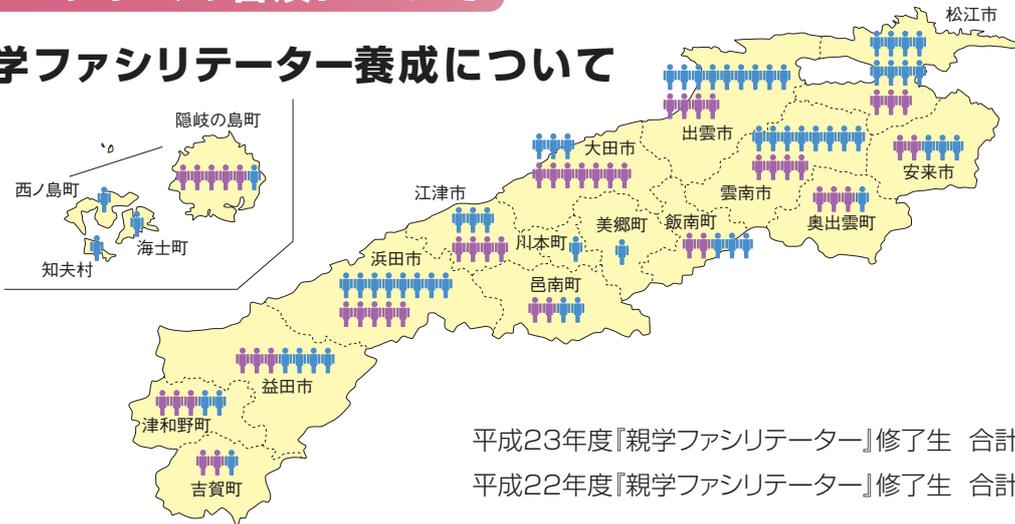
- 市町村社会教育指導者・担当者の参加状況が低い市町村においては、公民館等職員の参加率も低い傾向が見られました。
- 参加が著しく少ない市町村もありました。また、東部センターから遠隔地にある地域においては、参加率が低い傾向が見られました。
- 専門研修のうち2日間講座においては、参加率が低い傾向にありました。
- 社会教育に関する総合的な資質・能力を兼ね備えた人材を養成するため、基礎・専門等のレベルに応じた研修を提供していく必要があります。
- 講座の内容と参加者のニーズにズレが生じる場合があります。講座内容をしっかりと周知するとともに、市町村のニーズを的確に捉えていく必要があります。

# 社会教育研修センターの

# の普及についての成果と課題

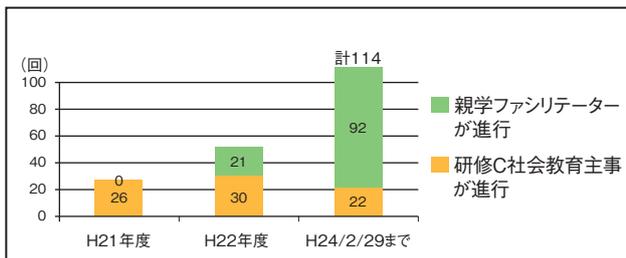
## 親学プログラムの普及について

### 1 親学ファシリテーター養成について

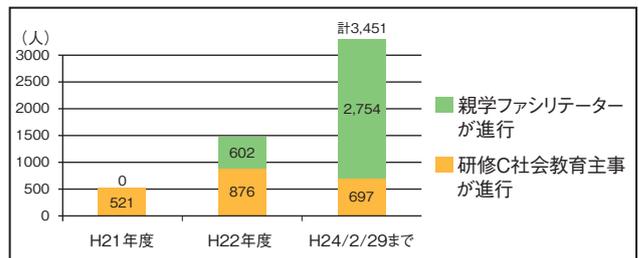


### 2 親学講座参加者数および講座回数の推移

親学プログラムを活用した研修・講座の開催回数(推移)



親学プログラムを活用した研修・講座の参加者数(推移)



### 3 成果と課題

親学プログラムの普及に向けた親学ファシリテーター養成講座及び派遣事業は2年を終えました。この2年間を振り返り、下記のような成果と課題が明らかになりました。

#### ■ 成果

- ・親学プログラムの有用性が認知されてきました。
- ・多くの市町村教育委員会で家庭教育を支援するため、親学プログラムを活用されるようになりました。
- ・親学ファシリテーターの活躍により現場での実践回数が増え、親学講座を体験する保護者が増えました。

#### ■ 課題

- ・市町村教育委員会の他、福祉部局等との連携を深める必要があります。
- ・派遣の要請に対し親学ファシリテーター数が不足しており、さらなる親学ファシリテーターの養成が急がれます。

## 来年度の人材養成研修と親学プログラムの普及についての方向性

- ★市町村社会教育・生涯学習担当課および、他部局との連携をさらに進めていきます。
- ★社会教育実践者にとって必要なチカラをより養成できるよう研修システムを見直しました。 →次頁に掲載
  - ・基礎・専門研修の講座内容を精選し、受講しやすくします。
  - ・専門研修(2日間講座)は、遠隔地の方もより参加しやすいように市町村と連携を図り、計画的な出前講座を実施します。
  - ・市町村の実態に応じた研修をサポートするため、「市町村支援事業」を開始します。
- ★親学ファシリテーター派遣の要請に対応するため、来年度親学ファシリテーターをさらに120名養成します。



# 平成24年度の

## 東部社会教育研修センター

社会教育・地域活動に携わる上で必要な基礎的知識や技術、島根県の社会教育の現状などを学びます。

### 基礎研修

研修名	No.	講座名	内容等	市町村	公民館	他社関係者	他行政関係者	学校関係者	月日	場所	定員
基礎研修	1	基礎から学ぶ「しまねの社会教育」講座	社会教育の基礎的な考え方や県の社会教育の現状などについて学び、地域における社会教育の今後の方向性を考える。公民館等の社会教育施設の役割や運営のあり方について学び、事業・講座づくりのポイントを考える。	○	○	○	○	○	6/ 6(水)	東部社会教育研修センター	30名
	2	地域課題解決のためのワークショップ講座	住民とともに地域課題を解決するために有効な参加型学習の基礎的な知識を学ぶ。またアイスブレイクや基本的なワークショップの手法を体験的に学ぶ。	○	○	○	○	○	5/30(水)		30名
	3	人と人をつなげるコミュニケーション講座	コミュニケーションの大切さについて考え、演習をととして体験的に学ぶ。	○	○	○	○	○	9/26(水)		30名
	4	説明力を高めるプレゼンテーション講座	プレゼンテーションの基本的な知識を学び、聞き手に分かりやすい伝え方を身につける。	○	○	○	○	○	5/30(水)		30名

社会教育の実践活動に対応した専門的な知識や指導技術を学びます。

### 専門研修

研修名	No.	講座名	内容等	市町村	公民館	他社関係者	他行政関係者	学校関係者	月日	場所	定員
専門研修	1	コーディネート力アップ講座	コーディネーターとしての役割である“つなぐ”視点や手法を学び、学社連携・融合を推進するための実践的なコーディネート力を高める。	○	○	○	○	○	11/28(水)	東部社会教育研修センター	50名
	2	地域課題解決のためのファシリテート力アップ講座	地域課題を解決するために有効な参加型学習を活用する方法を学び、演習をととして実践的なファシリテート力を高める。	○	○	○	○	○	11/14(水)～15(木)	飯南町近郊	12名
	3	学習プログラム企画・立案力アップ講座	企画立案の演習をととして、社会教育担当者にとって重要な資質であるプログラム・デザイン力を高める。	○	○	○	○	○	9/12(水)～13(木) 1/16(水)～17(木)	隠岐開発センター(海士町) 安来中央交流センター	12名 12名

社会教育・学校教育の現場で活躍する方々の抱える課題の解決に向けた具体的な方策を学びます。

### 課題別研修

研修名	No.	講座名	内容等	市町村	公民館	他社関係者	他行政関係者	学校関係者	月日	場所	定員
課題別研修	1	親学ファシリテーター養成講座	市町村や各社会教育現場における家庭教育支援のために、「親学プログラム」を活用した「親学」の講座・研修会等を行えるファシリテーターを養成する。	○	○	○	○	○	6/19(火)～20(水)	東部社会教育研修センター	12名
									7/ 3(火)～ 4(水)		20名
									8/23(木)～24(金)		20名
10/12(金)～13(土)									20名		
2	親学ファシリテーター・フォローアップ研修	H22・23年度親学ファシリテーター養成講座修了生を対象に、事例研究や派遣に関する留意事項等についての研修を行い、親学ファシリテーターとしての意識や実践力を高める。	H22・23年度養成親学ファシリテーター	○	○	○	○	○	12/ 3(月)	東部社会教育研修センター	20名
3	親学プログラム体験講座	市町村や各社会教育現場において家庭教育支援に活用できる「親学プログラム」の内容や活用場面について、体験をととして学ぶ。(市町村や団体の要望に応じ、相談の上、内容を決定して実施する。)	○	○	○	○	○	○	6/ 6(水) 随時実施	ご希望の場所で	20名程度

市町村が社会教育に関する研修会を主催される際、より充実した研修となるようサポートします。

市町村の実態に応じた研修の支援(社会教育指導者・担当者向け)

- 市町村主催の社会教育に関する研修について、相談や助言を行います。
- 市町村主催の研修に出向き、当日の研修をサポートします。



### 市町村支援事業

### 社会教育主事講習[B]

文部科学省より委託を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習会を実施します。(平成24年度は、平成25年1月21日から2月26日まで)

- 「生涯学習概論」(2単位)
- 「社会教育計画」(2単位)
- 「社会教育特講」(3単位)
- 「社会教育演習」(2単位)

# 講座にご参加ください!

## 西部社会教育研修センター

社会教育・地域活動に携わる上で必要な基礎的知識や技術、島根県の社会教育の現状などを学びます。

### 基礎研修

研修名	No.	講座名	内容等	市町村	公民館	他社関係者	他行政関係者	学校関係者	月日	場所	定員
基礎研修	1	基礎から学ぶ「しまねの社会教育」講座	社会教育の基礎的な考え方や県の社会教育の現状などについて学び、地域における社会教育の今後の方向性を考える。公民館等の社会教育施設の役割や運営のあり方について学び、事業・講座づくりのポイントを考える。	◎	◎	○	○	○	4/14(土)	西部社会教育研修センター	30名
									5/16(水)	邑南町元気館	
									7/24(火)	益田市立市民学習センター	
									7/25(水)	江津市	
基礎研修	2	地域課題解決のためのワークショップ講座	住民とともに地域課題を解決するために有効な参加型学習の基礎的な知識を学ぶ。またアイスブレイクや基本的なワークショップの手法を体験的に学ぶ。	◎	◎	○	○	○	6/28(木)	川本町	30名
									8/23(木)	江津市	
基礎研修	3	人と人をつなげるコミュニケーション講座	コミュニケーションの大切さについて考え、演習をととして体験的に学ぶ。	◎	◎	○	○	○	9/25(火)	西部社会教育研修センター	30名
基礎研修	4	説明力を高めるプレゼンテーション講座	プレゼンテーションの基本的な知識を学び、聞き手に分かりやすい伝え方を身につける。	◎	◎	○	○	○	10/17(水)	邑南町元気館	30名
									11/14(水)	西部社会教育研修センター	

社会教育の実践活動に対応した専門的な知識や指導技術を学びます。

### 専門研修

研修名	No.	講座名	内容等	市町村	公民館	他社関係者	他行政関係者	学校関係者	月日	場所	定員
専門研修	1	コーディネート力アップ講座	コーディネーターとしての役割である“つなぐ”視点や手法を学び、学社連携・融合を推進するための実践的なコーディネート力を高める。	◎	◎	○	○	○	11/27(火)	西部社会教育研修センター	50名
	2	地域課題解決のためのファシリテート力アップ講座	地域課題を解決するために有効な参加型学習を活用する方法を学び、演習をととして実践的なファシリテート力を高める。	◎	◎	○	○	○	9/19(水)～20(木)	邑南町元気館	12名
	3	学習プログラム企画・立案力アップ講座	企画立案の演習をととして、社会教育担当者にとって重要な資質であるプログラム・デザイン力を高める。	◎	◎	○	○	○	6/20(水)～21(木)	津和野町 日原山村開発センター	12名

社会教育・学校教育の現場で活躍する方々の抱える課題の解決に向けた具体的な方策を学びます。

### 課題別研修

研修名	No.	講座名	内容等	市町村	公民館	他社関係者	他行政関係者	学校関係者	月日	場所	定員	
課題別研修	1	親学ファシリテーター養成講座	市町村や各社会教育現場における家庭教育支援のために、「親学プログラム」を活用した「親学」の講座・研修会等を行えるファシリテーターを養成する。	○	○	○	○	○	5/24(木)～25(金)	西部社会教育研修センター	12名	
									6/8(金)～9(土)	邑南町元気館	12名	
									7/11(水)～12(木)	島根県立少年自然の家	18名	
									9/4(火)～5(水)	益田市立市民学習センター	12名	
課題別研修	2	親学ファシリテーターフォローアップ研修	H22・23年度親学ファシリテーター養成講座修了生を対象に、事例研究や派遣に関する留意事項等についての研修を行い、親学ファシリテーターとしての意識や実践力を高める。						H22・23年度養成親学ファシリテーター	12/4(火)	西部社会教育研修センター	
課題別研修	3	親学プログラム体験講座	市町村や各社会教育現場において家庭教育支援に活用できる「親学プログラム」の内容や活用場面について、体験をととして学ぶ。(市町村や団体の要望に応じ、相談の上、内容を決定して実施する。)	○	○	○	○	○	6/1(金)	江津市	20名程度	
									8/8(水)	吉賀町		
									8/28(火)	浜田市		
									随時実施	ご希望の場所で		

※日程や会場を変更することもあります。 ※◎大いに関連性がある ○関連性がある

#### 考えられる研修例

- 学社連携・融合のための研修
- 地域課題解決のためのワークショップ体験
- コミュニケーションスキル向上のための研修
- 公民館職員にとって必要なチカラとは?
- コーディネート力を向上させるためには? 等

単年度での一括受講のほか、年度を越えて科目ごとに分割受講もできます。この講習は受講資格に規定があります。詳しくは右記の教育庁社会教育課にお問い合わせ下さい。

#### 会場

東部社会教育研修センター  
西部社会教育研修センター

#### お問い合わせ先

県教育庁社会教育課  
〒690-8502 松江市殿町1  
TEL(0852)22-5428・5429

# 社会教育の実践紹介

西ノ島町

## 『夫の精神』再生プロジェクト

～共生と持続可能な地域社会をめざして!～

西ノ島町立中央公民館 館長 中板 健

西ノ島町立中央公民館では、「実証!『地域力』醸成プログラム」のモデル公民館に採択され、『夫の精神』再生プロジェクト」と題して事業を行っています。この事業のテーマは、「牧畑がつなぐ人と人～夫の精神に学ぶ～」です。



牧畑フォーラム パネルディスカッション

牧畑は放牧と農耕(麦・大豆・アワなど)を4年で輪転し、土地がやせないための工夫をした持続可能な循環型農法です。昭和20年代

まで盛んに行われていました。

島で生き抜くために考え出され、私たちの祖先が受け継いできた牧畑は、夫と呼ばれる共同作業によって成立してきました。牛馬を所有していない世帯でも草刈りや石積みの作業に参加し、牧畑から得られる恩恵を分け合ってきたのです。

私たちのまちを、これからも永遠に次の世代に受け渡していくためには、牧畑で培われてきた『夫の精神』をもう一度見直し、老いも若きも男も女もこぞって、夢と笑顔のあふれるまちづくりに参加する気運を盛り上げる必要があると考えました。

このプロジェクトは、各方面で活躍なさっている方々をメンバーとする『夫の精神』再生実行委員会』を事業の中心に置き、①子どもと高齢者との交流(異世代間交流)、②一般成人のための牧畑再発見教室(地域間交流)、③小学校「西ノ島まるごと教材化活動」の取組支援(学校支援・学社連携・融合)、④牧畑フォーラム(牧畑の歴史的、文化的価値の周知)の4つの事業を行っています。



世代間交流(磯遊び)

益田市

津和野町

吉賀町

## “情報の有機的な活用”～定例スタッフ会を工夫して～

益田教育事務所 社会教育スタッフ企画幹 広中 郁美

益田教育事務所管内では、3市町に派遣社会教育主事が配置されています。そこで、スタッフが互いの市町の情報を有機的に活用できないものかと話し合い、以下のように定例スタッフ会の持ち方を工夫しました。

①研修会・講師情報の共有…年度当初、研修会の年間計画を持ち寄り、各市町の開催時期を合わせ研修講師を同じ方に依頼した。このことにより、旅費削減や事務量の軽減を図ったり、研修内容を同一視点で協議したりするなど、研修の充実に力を入れることができた。



市町社会教育担当者を交えての情報交換

②西部社会教育研修センターとの連携…定例スタッフ会には西部社会教育研修センター(以下、西部センター)からも参加

があり、出前講座や親学等の打合せを行った。西部センターとスタッフが情報を共有することにより、市町の実態に合わせた事業が展開できた。



社会教育研修センターからの情報提供

③市町社会教育担当者との連携…定例スタッフ会を3市町輪番で開催した。その際、当番市町の社会教育担当者を加えた情報交換を実施し、互いの情報を各市町の取組に生かした。

このように、関係者が一堂に会し、互いに知恵を出し合うことで、情報を効果的に活用することができました。今後も機会があれば多くの関係者と集い、互いの情報を共有しながら機能的な連携を図っていききたいと思います。

# 県内派遣社会教育主事 奮闘中!

## 子育ての悩み・喜びを わかち合える風となって

奥出雲町教育委員会 派遣社会教育主事 田中 茂樹



『横田しぐさカレンダー』のふるまい向上の活動を我が家でもと思っている今日この頃でした。今日の親学研修会では、しつけについて各家庭での具体的な方法や子育て熟練者の地域の方の声を聞かせて頂いたことと、相手に自分の考えを伝えようとする事で、日頃の自分の姿勢や考えを振り返ったり気づいたりする大変貴重な機会になりました。今後も是非地域活動とPTA活動が一体となってよい町づくりができるように積極的に参加したいと思います。

これは、小学校と公民館共催の親学PTA研修会の保護者の感想です。保護者・教師・地域の方が参加して行われた親学研修が地域の教育力を高める第一歩となったと感じています。

奥出雲町では、ふるまい向上プロジェクトの中の親学の啓発について平成23年度は、「就学前の幼児」の保護者を対象に幼稚園・保育所での親学研修会を重点的に取り組みました。また、幼稚園・保育所職

員合同研修会においても親学やふるまい向上について参加型の研修会を行い、お互いに認識を深めました。

小・中学校への啓発については、PTA連合研修大会で「親子のコミュニケーション」をテーマに教師・保護者が7分科会で学び合い、これをきっかけに上記のように親学研修会を開催する学校が出てきました。

本町には4人の親学ファシリテーターがいます。この4人のファシリテーターが風となって親学を広めています。経験を積むことによってファシリテーター自身のコミュニケーション力の向上にもつながっています。すでに2名の保護者より来年度の親学ファシリテーター養成講座への参加希望がありました。今年度の課題を踏まえて、来年度は健康福祉課等との連携を考え、少しでも多くの親学ファシリテーターが「笑顔と語り」の生まれる場をつくれるように風となってがんばりたいと思います。



幼稚園での親学の様子



地域の方参加の親学研修会の様子



アイスブレイクの様子

## 東部社会教育研修センター 出雲

- 5月 30日(水) **基礎研修** 地域課題解決のためのワークショップ講座  
**基礎研修** 説明力を高めるためのプレゼンテーション講座
- 6月 6日(水) **基礎研修** 基礎から学ぶ「しまねの社会教育」講座  
**課題別研修** 親学プログラム体験講座
- 19日(火) **課題別研修** (第1回) 親学ファシリテーター養成講座  
 20日(水) 海士町

※日程や会場をやむを得ず変更する場合があります。最新情報はホームページに記載しますので、ご確認ください。  
 ※会場表記をしていない研修は、全て当センターで実施します。

## 西部社会教育研修センター 浜田

- 4月 14日(土) **基礎研修** 基礎から学ぶ「しまねの社会教育」講座
- 5月 16日(水) **基礎研修** 基礎から学ぶ「しまねの社会教育」講座  
 邑南町元気館
- 24日(木) **課題別研修** (第1回) 親学ファシリテーター養成講座  
 25日(金)
- 6月 8日(金) **課題別研修** (第2回) 親学ファシリテーター養成講座  
 9日(土) 邑南町元気館
- 20日(水) **専門研修** 学習プログラム企画・立案力アップ講座  
 21日(木) 津和野町日原
- 28日(木) **基礎研修** 地域課題解決のためのワークショップ講座  
 川本町



お知らせ

# インターネットをとおして学べます

国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでは遠隔学習コンテンツを公開しており、インターネットでも「社会教育」に関する学習ができます。社会教育に携わる方々には、大変参考になる内容となっています。新たにアップされたものの中には、島根県の事例も紹介されていますのでぜひご覧ください。



## 遠隔学習コンテンツ

### ■社会教育主事研修

#### (1)社会教育法改正と今後の社会教育

- ①生涯学習の振興と社会教育行政 (山本恒夫)
- ②社会教育主事に求められる役割 (山本和人)
- ③新しい時代における社会教育計画・評価の在り方 (浅井経子)
- ④生涯学習の学習成果の活用 (佐久間章)

#### (2)社会教育主事の専門性を高める資質・能力

- ①学校・家庭・地域の連携 (明石要一)
- ②家庭の教育力の向上 (大島まな)
- ③学習課題の把握と企画立案能力 (山本和人)
- ④コミュニケーションの能力 (清國祐二)
- ⑤調整者(コーディネーター)としての能力 (浅井経子)
- ⑥社会の変化に対応する「幅広い視野と探求心」 (熊谷慎之輔)

NEW!

#### (3)社会教育主事研修～資質・能力の具体と実践～

- ①学習課題の把握と企画立案能力(実践編) (山本和人・西崇)
- ②コミュニケーションの能力(実践編) (清國祐二・久佐日佐志)
- ③調整者(コーディネーター)としての能力(実践編) (浅井経子・郷扶二子)

社会教育実践研究センター

検索



## 編集スタッフから

東部・西部社会教育研修センターは、3年前より事業内容を大幅に変え、社会教育を推進する方々のための研修施設として大きく舵を切りました。特に社会教育の実践者の方々が、必要なチカラを身につけていただけるよう全国に先駆けて新たな研修体系を構築しました。その結果、試行錯誤の連続ではありましたが、3年間で延べ3600人以上の方に研修に参加していただきました。来年度からはより効果的に受講できるよう、これまでの内容を精選し研修講座をリニューアルさせます。社会教育の実践者の方々にとってより充実した研修となるようスタッフ一同努力して参ります。どうかたくさんの方に研修に参加していただきたいと思っております。来年度もよろしくお願ひします。

## 東部社会教育研修センター

〒691-0074 出雲市小境町1991-2 サンレイク2F  
 Tel.(0853)67-9060 Fax.(0853)69-1380

URL: [http://www.pref.shimane.lg.jp/tobu\\_shakaikyoiku/](http://www.pref.shimane.lg.jp/tobu_shakaikyoiku/)  
 E-mail: [tobu\\_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp](mailto:tobu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp)

## 西部社会教育研修センター

〒697-0016 浜田市野原町1826-1 いわみ〜3F  
 Tel.(0855)24-9344 Fax.(0855)24-9345

URL: [http://www.pref.shimane.lg.jp/seibu\\_shakaikyoiku/](http://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/)  
 E-mail: [seibu\\_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp](mailto:seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp)